

# 革新懇・青年フォーラムのお礼と今後について

大阪革新懇代表世話人  
大阪労連副議長  
服部信一郎

去る5月17日(土)の青年フォーラム(35人参加)にお越し頂きながら、お礼と報告が遅れてしまいました。革新懇HP <http://kakusinkon.com/> では当日、トピックスにニュースをアップし、25日にはFAXニュースを配信いたしましたが、参加者への報告が遅れたことをお詫びし、今後ともお付き合いのほど宜しくお願いします。

また、青年フォーラム(青年と政治革新がテーマ)を継続するうえでのご意見いただければ幸いです。

## 1. まず、反省点です。

初めての取り組みだったので、参加者を組織することに力を注ぎながらの準備だったので、進行上の準備が不十分でした。討論テーマを明確に出来ないまま、司会者の上手な進行で助かりました。今後は案内段階から、テーマを整理して提案しておくことが大事だと思います。

青年は朝からの参加を嫌うのではないかと考え、午後からの参加を案内しました。当日は、朝10時から革新懇学校が開催されており、情勢や全国での革新懇運動の様子、大阪の革新懇結成の歴史的背景が講演されていました。何人かの青年は朝からも参加されましたが、青年向けチラシには小さくしか紹介していなかったことから、朝からの参加者は限られてしまいました。

革新懇は、民主連合政府をめざす無党派のみなさんとの草の根の政治組織(日本共産党も参加していますが、共産党後援会などとは違います)です。平和と民主主義、くらしを守ろうとする市民、労働者、青年による共同運動です。この点を、当日、はじめにシッカリ提案し、理解いただきながら青年フォーラムをスタートさせるべきでした。

「終わってから、みんなで交流会したかった」の意見もあり、次回からの検討とします。。

## 2. そして、良かった点です。

はじめての青年、しかも各分野の青年同士が話し合えたこと。

青年ドクターと青年弁護士が参加されていてよかったの意見。もっと時間をかけて、いっしょに討論したかったとの意見がたくさんありました。

感想アンケートに、いっぱい書いてくれました。

しかも、政治を変えたいとの思いが伝わってきます。例えば「自分自身、今の先行きのない職場環境に泣き寝入りしてしまっているのに、身近にこんなにも真剣に自分達の未来を変える為に頑張っている人達が居る事はとても励みになった」、「非正規労働が不安定な社会をつくっているのだと、リアルな話しを聞けました。当たり前前の社会にするために革新懇運動を発展させたい」、「正規の青年と非正規の青年の討論、非常に勉強になった、次の機会にも参加したい」などでした。

### 3 . 今後のテーマについて

以下のテーマがアンケートに書かれていました。

人生について、資本主義について、近現代史、森永卓郎の話、青年革新懇運動について、弁護士の話、大阪府政、共産党や全労連の方以外の話しなど、が寄せられています。

### 4 . 「私が総理大臣なら」意見

これにも随分たくさんの意見が寄せられました。特徴的な項目としては、24時間社会を禁止する。在日コリアン(外国人)に参政権を与える。派遣労働の禁止、労基署に警察のような緊急通報装置を設ける。大学まで授業料無料。食料の自給率アップ、自然エネルギーでのエコ化。日米安保条約の廃棄。政治に国民の声が届くしくみ。全国一斉に全労働者が休む日をつくる。平和的生存権の完全実施。18歳選挙権。小選挙区制廃止などでした。

### 5 . 次回、青年フォーラムの開催について

青年フォーラムは、年に数回の開催を考えています。次回は、9月には開催したいと思います。その時期、ますます「青年と政治」が熱く語られる情勢にあると思います。事務局がありませんが、司会を担当して下さった向濱さん、尾崎さん、民青の三和さん(常任世話人)などと相談させていただこうと考えているところです。この点でも、ご意見寄せていただければ幸いです。

2008年6月12日